

ご存じですか！文化財

83

小山朝政の墓

市指定史跡 昭和38年9月17日指定



問合せ
生涯学習課
(☎0480・62・1223)



大越1984 徳性寺

大越の徳性寺北東に、小山朝政の墓と伝えられる史跡があります。

小山朝政は、保元3(1158)年ごろに太田政光の子として生まれました。父の政光は武蔵国の太田氏の出身であり、下野国(栃木県)小山に移り小山氏を名乗りました。

朝政は、源頼朝に従い鎌倉幕府創設期に功績を残した人物です。頼朝の信任を受け、一族にも重職を担う者が多く出ました。その後、朝政は、各地の守護を務め、暦仁元(1238)年に亡くなりました。



小山朝政の墓は、石造りの高さ146cm・幅45cmの宝篋印塔で、この塔身に梵字でキリク(阿弥陀如来)が刻まれ、基礎には貞和元(1345)年の銘があります。

朝政の没年と宝篋印塔の年号に開きがあることから、墓というより供養塔の可能性が高いと思われます。

朝政の「墓」がここに建てられたのは、徳性寺の開基が朝政によると伝えられ、また、小山氏がこの辺りを領地としていたことに関わりがあるとも考えられます。

※宝篋印塔とは、墓塔・供養塔で、鎌倉時代以降、多くみられます。